

特産品化を目指し “梅”をPR

盛大に梅まつり開かれる



6月4日、阿久比梅栽培組合主催で梅の消費拡大とPRを目的に、ふれあいの森と周辺の梅畑で「梅まつり」が開かれました。

青梅もぎとり体験会場の梅畑には、300人の参加者が集まりました。子どもたちは高い場所に実った青梅を見つけて、木に登ったり、親に抱っこされながら楽しそうに梅をもぎ取っていました。

愛知県農村生活アドバイザーによる梅の加工講習会なども行われ「梅は健康にとっても良い食品です」と参加者に説明していました。



親に抱っこされながら梅をもぎとる子ども

兄弟で全国大会に出場



左が利紀君（兄） 右が紘志君（弟）

7月26日と27日に東京都で開かれる全日本少年剣道錬成大会に出場する、阿久比中2年の新美利紀君と英比小6年の紘志君の兄弟が、6月5日出場報告に町長室を訪れました。

二人は東海市の修徳館日比野道場に所属して、それぞれ中学生と小学生の部で団体戦に出場します。兄の利紀君は「一回戦突破を目指します」。弟の紘志君は「梅いのない試合をしてきます」と健闘を誓っていました。

養鶏産業の発展に寄与



受賞を喜ぶ新海久夫さん

新海久夫さん（矢口）が第31回高橋養鶏賞（愛知県畜産協会主催）を受賞しました。

高橋養鶏賞は名古屋コーチンの改良など養鶏研究の分野で活躍した高橋廣治氏の業績をたたえて設けられた賞です。

新海さんは、長年の養鶏産業の発展に寄与されたことが認められました。「平成16年に鳥インフルエンザが大流行したときは大変でした。これからも衛生面に気を付けて、安心して安全な鶏卵を消費者の皆さんに提供していきたいです」と話していました。